

資料 8

第 1 回京都市地区中学校教科書選定委員会会議概要

1 日 時 平成 27 年 5 月 11 日（月） 18 時 30 分から 20 時 00 分まで

2 会 場 京都市総合教育センター 永松記念ホール

3 出席者 ①選定委員 109 名

②教育委員会事務局 12 名

在田教育長，清水教育企画監，大林指導部長，的山指導部担当部長，島本学校指導課長，有澤担当課長，佐藤統括首席指導主事，山本首席指導主事，太田首席指導主事，手塚首席指導主事，畑中首席指導主事，荒木首席指導主事，古田首席指導主事

4 議事

教科書選定に関わる教育長からの諮問及び教育委員会事務局からの説明を行い，各教科部会に分かれて協議が行われた。

- (1) 在田教育長から挨拶及び平成 28 年度から平成 31 年度まで京都市立中学校及び京都市立西京高等学校附属中学校で使用する教科書の選定についての基本方針等の諮問を行った。
- (2) 佐藤統括首席指導主事から教科書選定の進行，公正確保等についての説明を行った。
- (3) 委員の互選により委員長に安居昌行委員が，副委員長に西岡正子委員が選出された。
- (4) 各教科部会ごとに部会委員紹介，業務内容説明及び部会長，副部会長選出が行われるとともに，調査研究における「選定の観点」や調査研究方法，今後の日程について協議が行われた。

第2回「京都市地区中学校教科書選定委員会」会議概要

- 1 日 時 平成27年6月15日（月）18時30分から20時20分まで
- 2 会 場 京都市総合教育センター 1階 第2研修室
- 3 出席者 ①選定委員
学識者及び保護者代表6名の委員を含め104名（5名欠席）
②教育委員会事務局
清水教育企画監，大林指導部長，的山指導部担当部長，島本学校指導課長，有澤担当課長，佐藤統括首席指導主事，西村首席指導主事 他

4 議事

- (1) 安居委員長から挨拶が行われた。
- (2) 教科部会ごとに部会長および指導主事から，現時点での調査研究の状況についての報告を行った後，学識者及び保護者の委員からの意見を踏まえ，協議した。
（*当日は，選定委員会と並行して，各教科調査研究部会も開催された。）

<主な意見>

【国語科】

- ・ SNS の不適切な使用に関する教材など，「メディアリテラシー」については取り上げられているかを見てほしい。
- ・ 各教科の選定の観点に「人権」があるが，特に，読み物資料が多い国語科において，各社の人権についての配慮を検討すべきである。

【社会科】

- ・ 領土に関する記述について，一部改訂された学習指導要領解説書や教科用図書検定基準に沿った内容となっているか。
- ・ 歴史的事象の記述について，（科学的な）根拠となる資料が正確に提示されていることが大切である。
- ・ どの年代を学習しているかを常に意識できるようインデックスなどが工夫されており，生徒もイメージしやすい。

【数学科】

- ・ 「導入→振り返り→発展的な学習」の一連の流れが基本となると思うが，各社の特徴をどう評価するか考えてほしい。
- ・ 数学科として特に重視する選定の観点はどこか。数学の楽しさを知り，意欲的に学習する態度の育成が大切だと思う。

【理科】

- ・ 観点7の他教科（特に数学科）等の関連において，特徴的な教科書はあるか。

【外国語科】

- ・「京都」に関する題材は、京都で学ぶ生徒にとって学習意欲につながる。「京都」の事柄を取り上げた例はあるか。
- ・英語指導にあたって、特に「Can-Do リスト」は重要なものだが、各社、難易度や取扱いの違いがみられるか。
- ・音声も大切な教材だが、教員用指導書には CD が添付されているか。

【音楽科】

- ・道徳教育との関連はいかがか。
- ・著作権の取扱いが取り上げられており、非常に大切な観点である。

【美術科】

- ・題材構成に関して、1年と2・3年上下が分冊となっている意図やメリットについて、観点到に盛り込まれているか。

【保健体育科】

- ・幅広い分野について掲載されており、標準授業時数内に履修しきれものか。
- ・薬物の取扱いについて、ページ数が増え、写真や資料も豊富で生徒の学習意欲を喚起する工夫されている。喫緊の課題であり、しっかり教えてほしい。

【技術・家庭科（技術分野）】

- ・SNS の不適切な使用や「メディアリテラシー」について、取り上げられているか。
- ・コンピュータープログラムや情報モラルの取扱いに違いはあるか。

【技術・家庭科（家庭分野）】

- ・幼児との触れ合い活動は、授業内でどのように行われているか。
- ・調理実習の取扱いについてはいかがか。実習の現状も含めて、実生活との関連は図られているか。

【教科書の全体的な構成】

- ・様々な色やイラスト等を使って、生徒に理解しやすいよう工夫され、丁寧な説明が多い。発達障害の生徒にとっては、文章を読むことに集中しにくい面があり、色使いや文字の大きさ、紙質等についても評価の観点としてほしい。
- ・演習問題など教科書に直接書き込む場合など、紙質によっては書きづらい場合も考えられる。

第3回「京都市地区中学校教科書選定委員会」会議概要

- 1 日時 平成27年7月13日(月) 18時30分から20時30分まで
- 2 会場 京都市総合教育センター 1階 第2研修室
- 3 出席者 ①選定委員
学識者及び保護者代表6名の委員を含め102名(7名欠席)
②教育委員会事務局
清水教育企画監, 大林指導部長, 的山指導部担当部長, 島本学校指導課長, 有澤担当課長, 佐藤統括首席指導主事, 西村首席指導主事 他

4 議事

- (1) 安居委員長から挨拶が行われた。
- (2) 教科部会ごとに部会長および指導主事から, 調査研究の結果についての報告を行った後, 現時点での答申案について, 学識者及び保護者の委員からの意見を踏まえ, 協議した。
(*当日は, 選定委員会と並行して, 各教科調査研究部会も開催された。)

<主な意見>

【国語科】

- ・国語科の選定の観点5「生涯にわたって学び続ける態度をはぐくむ」については, 具体的にどのような点を評価しているのか。

【社会科】

- ・領土について, バランスよく記載されている教科書があり, 評価できる。
- ・歴史の教科書の中には, 記述内容や資料など, 学習をすすめるうえで全体的にバランスがとれているものもある。
- ・歴史を大観する学習が重視されているが, 各時代の流れの受け渡しのつなぎ目となる部分において, 特徴的な工夫はみられるか。
- ・公民的分野において, 文法上日本語の使い方としては正確でないと思われる箇所がみられる教科書もある。その点は評価に反映させているのか。

【数学科・理科】

- ・別冊があることについて, 評価につながっているのか。

【理科】

- ・京都に関わる題材や資料等の取り扱いについては, 視点別評価にどのように反映しているのか。

【外国語科】

- ・多くの授業においてデジタル教材が用いられていると思うが, 選定作業において, デジタル教材はどのように評価しているのか。

- ・生徒にとっては、リスニング（聞くこと）が難しい場合もあるようだが、各社どのような工夫がなされているか。

【音楽科】

- ・器楽について、2社がほぼ同評価であるが、例えば、リコーダーについて、小学校でのソプラノから中学校ではアルトへ変わるが、小学校からの連続性について、より配慮されているのはどちらか。
- ・中学生になって、アルトリコーダーの指の押さえ方や、タンギングに苦勞する生徒も多いが、その点はどのようなサポートがなされているか。
- ・一般と器楽で教科書の発行者が異なっても、支障はないのか。

【美術科】

- ・京都に関わる題材等の取り扱いについては、どのように評価しているか。

【技術・家庭科（技術分野）】

- ・情報セキュリティについては、選定の視点のどの項目で評価されているか。また、各社の工夫はどのようなものか。